

# 日本点字事情 かわら版

横浜市立盲学校

点字研究部

2002年3月15日発行 NO.43

文責 道村静江

## 「日本点字表記法2001年版」改訂内容解説6

### 10. 点字情報処理用記号の使い方

<表記法 第2章 第3節 15.p27 第4章 第5節 7.p77 >

**ホームページやEメールのアドレス**などを表す場合、どう書いていいの  
か困りますよね。それもちゃんと載るようになります。

「情報処理用点字のナチュラル表記を用いる」とありますが、簡単に言えば、

単独大文字符(⠠)直後の大文字1個だけに有効(一般の大文字符と同じ)

連続大文字符(⠠⠠)後ろを大文字状態にする(一般の二重大文字符と同じ)

小文字フラグ(⠠)後ろを小文字状態にする(一般の外文字符と同じ)

数字フラグ(⠠)後ろを数字状態にする(一般の数符と同じ)

ここまでは、一般の表記とあまり変わらない使い方と言えます。ナチュラル  
記では基本状態が小文字状態になりますので、大文字の所を気を付けます。また、  
要注意なのが数字の後です。(ドット・ピリオドの後は数字の継続とみなし、数  
字の後のa~jはもう一度小文字フラグを前置する必要があります。)

まずは特有の記号のうち次の項目だけ知っていれば、通常アドレスなどは書  
けるでしょう。これらの書き表し方は、生徒にも是非教えてあげてください。

内部が情報処理用点字で書かれていることを示す囲み符号(⠠⠠~⠠⠠)で前  
後を囲みます。

スラッシュ/は、⠠/を使います。(分数線と同じ形)

「:」は⠠⠠を使います。ただし、ホームページのhttpの後の「:」はこれを使  
いますが、E-mailのあとの「:」などのように、説明の小見出し符的に使ってある  
ものは、情報処理用点字の(⠠⠠)は使いません。マスあけで処理しましょう。

ドット(.)は⠠です。これは一般の表記のピリオドと同じですが、情報処  
理用点字表記ではピリオドは数字の継続と見なすという特別なルールがありま  
す。そのため、数字+ピリオド+小文字のa~jの順に続くときは、a~jが数  
字の1~0と区別が付かないので、アルファベットの前に小文字フラグ(⠠)を  
前置しなければなりません。

アットマーク@は⠠です。

